

1 単元名 器械・器具を使った運動遊び「固定施設・鉄棒を使った運動遊び」

2 目標

- (1) 固定施設を使った運動遊びと鉄棒を使った運動遊びの行い方を知るとともに、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下り、支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりがや易しい回転をして遊ぶことができるようにする。【知識及び技能】
- (2) 固定施設や鉄棒を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 固定施設を使った運動遊びと鉄棒を使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①固定施設を使った運動遊びの行い方について言ったり実際に動いたりしている。 ②鉄棒を使った運動遊びの行い方について言ったり実際に動いたりしている。 ③固定施設で、登り下りやぶら下がり、懸垂移行、渡り歩きや跳び下り、逆さの姿勢などをして遊ぶことができる。 ④鉄棒を使って、手や腹、膝で支持したり、ぶら下がったり、揺れたり、跳び上がった、跳び下りたり、易しい回転をしたりするなどして遊ぶことができる。	①簡単な遊び方を選んでいる。 ②友達のよい動きを見付けたり考えたりしたことを友達に伝えている。	①固定施設を使った運動遊び、鉄棒を使った運動遊びに進んで取り組みようとしている。 ②順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ③器械・器具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④場の安全に気を付けている。

4 運動の特性

ア 一般的特性

・登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをする、支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりがや易しい回転をすることにより、それらができる楽しさに触れることができる運動である。

イ 児童から見た特性

- ・新しい動きや、遊びができるようになったときに楽しさを味わうことができる運動である。
- ・「できる」、「できない」がはっきりした運動であり、苦手意識をもちやすい運動である。

5 児童の実態

知識及び技能に関して	思考力、判断力、表現力等に関して	学びに向かう力、人間性に関して
(行い方の知識はあるか) 1年生の時に固定施設を使った運動遊びや鉄棒を使った運動遊びの学習を行い、使い方は理解している。 (技能の状況はどうか) 固定施設を使った運動遊びや鉄棒を使った運動遊びがあまり好きではない児童が2割いる。	(課題を見付けられるか) 自分がやりたい動きを見付けられる児童は7割いる。 (解決はできるのか) 自分ができるために何回も練習したり、友達にコツやポイントを聞いたりして解決しようとする児童が6割いる。 (考えを伝えられているか) 運動遊びで見付けたコツや動きを友達に伝えていないと回答した児童は5割いる。	(進んで取り組んでいるか) 9割の児童が意欲的に運動に取り組むが、数人運動を苦手として取り組むのに戸惑う児童がいる。 (友達と仲良く取り組んでいるか) 自分から友達と進んで関わりをもって取り組む児童が多い。解決の仕方が分からず一人で困っている児童も1割いる。 (安全に気を付けているか) 周りの安全に気を付けて遊ぶ児童が8割いる。

6 指導の手だて

(1) 課題を見付けられるようにするための指導の工夫

①時間の確保や発問の工夫

1 単位時間の中で遊ぶ時間を十分に確保することで、たくさんの遊び方を経験し、やりたい遊びやできるようになりたい動きなどの自己の課題を見付けられるようにする。また、「どんな遊び方があるのか」「どうしたらより楽しくなるのか」などの発問をすることで児童の思考を深め自分の課題を見付けやすくする。

②遊び方やよい動きを共有するための工夫

新しい課題を見付けたり、課題を解決したりするために学びを価値付ける時間を設定する。単元の前半では遊び方を中心に共有し、課題を見付けられるようにする。後半ではよい動きを中心に共有し課題を解決するための手だてとしていくようにする。また、児童が行った動きを「花咲ケカード」に記入し、いつでも見られるようにしたり、動きの例の資料を用意したりしておくことで課題を見付けるための手だてにする。

(2) すすんで課題を解決できるようにするための工夫

①ICT の活用

自分が考えた遊び方やできるようになった動きを撮影して、クラス全体で共有する。そうすることで、授業で伝えきれなかった遊び方を知り、遊び方を広げることができると考えた。また、動画は動画共有ツールでいつでも見られるようにし、休み時間や放課後などでも取り組むことができるようにする。

7 指導と評価の計画

学習過程		課題を見付ける	課題を見付ける・課題を解決する			課題を解決する	
時間		1	2(本時)・3		4・5	6・7	
学習内容及び活動		1 準備運動をする					
		2 固定施設を使った運動遊びと鉄棒を使った運動遊びをする ・これまでに学習した運動遊びの行い方を確認する。	2 固定施設を使った運動遊びをする ・固定施設を使った運動遊びの行い方を知る。 ・いろいろな固定施設をつかった運動遊びをする。	2 鉄棒を使った運動遊びをする ・鉄棒を使った運動遊びの行い方を知る ・鉄棒を使ったいろいろな運動遊びをする。		2 固定施設を使った運動遊びと鉄棒を使った運動遊びをする ・簡単な遊び方を工夫して、固定施設を使った運動遊びや鉄棒を使った運動遊びをする。 ・楽しくできる場や遊び方を選ぶ。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを伝える。	
		3 遊び方を共有する ・楽しかった遊び方を共有する。	3 遊び方を共有する ・楽しかったり工夫したりした遊び方を共有する。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを伝える。			3 遊び方や動きのこつやポイントを共有する ・楽しかったり工夫したりした遊び方を共有する。 ・遊んでいるときの動きのこつやポイントを共有する。	
		4 固定施設を使った運動遊びと鉄棒を使った運動遊びをする ・自分がやりたい遊びを行う。	4 固定施設を使った運動遊びをする。 ・楽しくできる場や遊び方を選ぶ。	4 鉄棒を使った運動遊びをする ・楽しくできる遊び方を選ぶ。		4 固定施設を使った運動遊びと鉄棒を使った運動遊びをする ・楽しくできる場や遊び方を選ぶ。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを伝える。 5 単元を振り返り、学習のまとめをする	
評価の重点	知・技		①		②		③④
	思・判・表			②		①	
	主体的	④	②		③		①

8 本時の展開(2/7)

(1) 目標

- ・固定施設を使った運動遊びの行い方について言ったり実際に動いたりすることができるようにする。
- ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくすることができるようにする。

(2) 展開

学習活動	□個別最適な学びへの支援 ○評価(評価方法)
1 整列・挨拶をする 2 自分のめあてを確認する いろいろな運動遊びをして、みんなで楽しく遊ぼう 3 準備運動をする 4 固定施設を使った運動遊びをする ・固定施設を使った運動遊びの行い方を知る。 ・いろいろな固定施設を使った運動遊びをする。 5 遊び方を共有する ・楽しかったり工夫したりした遊び方を紹介する。 ・友達が楽しんだり、工夫したりした遊び方を知る。 6 固定施設を使った運動遊びを行う ・資料や友達の動き、自分が考えた動きを基に、自分がやってみたい動きに取り組む。 ・楽しくできる場や遊び方を選んで、固定施設を使った運動遊びをする。 7 整理運動をする 8 学習のまとめをする ・めあてに対して振り返り、楽しかったことや工夫したこと、今後自分がやってみたいことなどを書く。	□前時の振り返りの中から、自分のめあてを明確にしていた児童を取り上げ、課題を見付けたり、解決したりすることの意識を促す。 □「どのようなことをしようとしているのかな」、「どんな遊びがあるのかな」などの発問をすることで動きの幅を広げるように促す。 ○固定施設を使った運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。(観察) □「どんなところが楽しかったのか」「どんなことを工夫したのか」という視点で振り返りをすることで、楽しさや工夫の仕方を共有し、楽しくできる遊び方を選べるようにする。 □順番やきまりを守り、誰とでも仲よく取り組もうとしている様子を取り上げて、称賛する。 □友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを伝えていた児童を称賛し、協働的に学習することのよさを全体に広める。 ○順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。(観察)